

令和 5 年度 学校評価 関係者評価票

学校名：兵庫県立千種高等学校

1 学校教育目標

郷土を愛する心と純真素朴な気風を育み、たくましい身体と強い意志をもって、命と人権を大切に社会に貢献する、こころ豊かで自立する人づくりをめざす。

2 重点目標

- ①地域になくなくてはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。
- ②特色ある3類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。
- ③教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。
- ④互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。

4 総合的な学校関係者評価

○僻地にある単学級の高校ではあるが逆にその教育環境(少人数・地域性・自然等)を活かし、積極的に働きかけることで特色のある取組により特色ある学校・魅力ある学校になっている。
 ○県立学校故、先生方は遠方からの通勤・勤務となるが時間をいとわぬ取組に感謝の限りである。地域にとっても千種高校の存在は大きく、先生方・生徒の頑張りには地域の誇りと住民の励みである。
 ◇学校目標のなかに、自然の恵みに対する感謝を挙げてはどうか。
 ○良いと思います。生徒の個性も考慮する必要があるのが大変ですが、引き続き宜しくお願いします。

3 自己評価結果

※評価点は、4点満点

○：良好な評価 ◇課題等

No. 1

	実践目標	実践項目	5年度	5年度	4年度	良かった点・課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
			1月評価	7月評価	1月評価		
1	地域になくなくてはならない「信頼される学校」、「魅力ある学校」づくりの推進を図る。	ホームページの充実を図り、学校の様子を随時発信する。	3.8	3.5	3.9	○職員全員がブログを作成する意識を持っていたことはよかった。 ◇ホームページの作成には組織的に対応が必要と感じた。 ◇知らせなければならない内容を整理する方が良い。 ◇ホームページの作成は誰か担当を決めた方が良いと思う。学年主任は負担が大きすぎるのでは。	○生徒が地域行事に積極的に参加出来るよう体制を整えているのは、生徒にとって貴重な体験となっていると思う。(カフェ・茶会・ライフル・フェスタ等) ○地域の人々は、千種高校を高く評価しており、魅力ある学校として見守っている。
2		学校行事、授業参観等を実施し、開かれた学校づくりに努め、その感想や意見を学校経営に役立てる。	3.2	3.5	3.6	○役立てようという姿勢が職員にあるのが良いと思う。 ◇授業公開の方法には工夫が必要である。	
3		生徒が地域と関わる機会を増やし、地域社会の発展を願う気持ちを高揚させる。	3.6	3.7	3.7	○校門に地域住民の居場所をつくる程、地域を日常に感じないとわからないと思う。 ◇単に増やすだけでは職員の負担が増えるだけである。効果の低い取組はやめてもよいと思う。	
4		千種町園小中高連携一貫教育推進事業との連携を深め、まちづくり活動を推進する中で、「行きたい高校」として本校の存在を身近に感じさせる。	3.6	3.5	3.8	◇身近に感じてもらっているし人の努力もあるが、行きたい学校になっているかはわからない。 ◇千種町との連携だけでよいのか。検討の時期になっているのでは。	
5		行事や授業を通じて「連携型中高一貫教育校」の定着、発展を図る。	3.3	3.3	3.4	◇中学校等の学力データがないので、データが必要である。 ◇授業での取組を増やすべきである。	
6	特色ある3つの類型と特色ある教育課程を編成し、確かな学力と人間性をそなえた生徒の育成を図るとともに、自己実現と進路目標の達成を図る。	挨拶の励行等基本的な生活習慣および品格ある自覚した行動の確立に努めさせる。	3.3	3.2	3.4	◇言葉遣いは気になる点がある。ただし、強い指導は適さないと思う。 ○挨拶はしっかりできていると感じる。 ◇基本的な生活習慣は個人によって差があると感じる。 ◇挨拶はできているが、ポケットに手を入れたままが気になる。	○米作りを通じた地域貢献、幅広い就業体験等の探究学習は地域の教育資源を活かしたすばらしい取組である。教師も大変な労力を必要とするが、その分生徒の自己肯定感・有用感・効力感等自尊感情を育んでいると感じる。 ○教科指導・進路指導において生徒個々に応じた細やかな対応をしてくださるおかげで、生徒達は自己実現・進路達成に希望をもって取り組んでいる。
7		教科指導・総合的な探究の時間等を通して、生徒が自己の意見を論理的に明確に表現できるよう指導に努める。	3.5	3.3	3.5	○発表力が身につけている。 ○すべての生徒に自己の取組の成果を発表させているのがよいと思う。	
8		ふるさと貢献活動、就業体験、ふれあい育児等の体験的活動を多く取り入れ、生徒個々の自己有用感を高める。	3.5	3.4	3.4	○体験先の新規開拓がよかった。 ○地域の包容力も手伝って効果的である。 ○就業体験はすぐれた取組である。次年度はそれを進める組織を作りたい。	
9		部活動、委員会活動への参加を積極的に推進し、充実した高校生活を支援する。	3.3	3.3	3.3	◇委員会活動を使って学校を動かす意識がもう少し強まっても良いと思う。 ○それぞれに頑張っている様子がみられる。	
10		進路説明会やLHR・面談等を通じて、主体的な進路選択能力の育成を図る。	3.4	3.5	3.5	○多面的な取組ができています。	
11		体育的諸活動を通して、心身を錬磨し、将来の社会生活でたくましく生きる体力・精神力を養う。	3.4	3.3	3.5	○前向きな取組で雰囲気が出ています。	

	実践目標	実践項目	5年度 1月評価	5年度 7月評価	4年度 1月評価	良かった点・課題・改善策等	自己評価、改善策の適切さに関する学校関係者評価
12	教職員の資質と実践的指導力の向上を図る。	各教科において、授業研究など学習指導について工夫・改善を行う。	3.2	3.4	3.4	◇職員間での研修を習慣化させたい。 ○改善期間はよくできていた。 ◇教科書横断的授業に取り組むことで授業力の向上を図ってはどうか。	○生徒個々に応じた指導がなされているように思う。また、コースを明確にすることで適切な進路指導となっているように思う。この環境下、生徒一人一人が進路目標を掲げPDCAのマネジメントを定期的にする事でより主体的な学校生活となることを期待する。 ○教職員の自己研鑽は着実に実行されており、生徒一人ひとりの事情に細かく配慮して指導して下さっている。
13		教科の枠を超えた授業の公開や研修会によって相互に研鑽する。	3.1	2.8	2.6	◇職員間での研修を習慣化させたい。 ○改善期間はよくできていた。 ◇研修会の復命を全教員に情報提供し共有する機会を増やす。 ◇教科書横断的授業に取り組むことで授業力の向上を図ってはどうか。	
14		地域の人材や素材を活用した特色ある授業の取り組みを行う。	3.7	3.2	3.5	○良く活用できている。 ◇持続させる中で地域人材と教員の間で役割分担が必要である。 ○アクティブの授業は千種地域の特色ある授業も多く一生懸命に取り組んでいると思う。	
15		生徒の実態や能力に応じて、個に応じたきめ細かい学習指導を実践する。	3.6	3.6	3.5	○個々の事情に配慮できている。	
16		課題や宿題の指導を通して、家庭学習の習慣化を図る。	2.8	2.8	3.0	◇類型別の取組が必要である。 ◇全体的には家庭学習の内容が教科である必要はないと思う。	
17		基礎学力の定着や資格取得のための補習を実施する。	3.1	3.2	3.2	◇類型別の取組が必要である。 ◇全体的には家庭学習の内容が教科である必要はないと思う。	
18		家庭連絡や家庭訪問を通して、保護者との情報交換や意思の疎通を図る。	3.4	3.3	3.8	○確認しながら指導していることは多くある。 ◇生徒のために保護者と作戦を採る関係性に至れば良いと思う。 ◇昨年度と大きく変わっている面があれば情報共有するべきである。	
19		生徒の進路希望を達成するために、情報の収集や提供を行い、適切な進路指導を行う。	3.5	3.5	3.5	○良く面談を行っている。	
20		互いを認め合う望ましい人間関係を築きながら、食育・福祉教育や安全教育の推進を図る。	マナーや規律、規範意識を高める取り組みを、ホームルーム、生徒会活動等で行う。	3.2	3.5	3.5	
21	生徒一人ひとりの役割や居場所を、クラスの中や様々な教育活動の場において設定する。		3.6	3.7	3.5	○全員面談が基盤となっている。	
22	生徒の個人面談や、日頃の声かけ指導を積極的に行う。		3.9	3.7	3.7	○毎学期の全員面談は続けたい。(LHR等まとまった時間がとれるとよい) ○個人面談で生徒の様子が分かるので良いと思う。今後も続けて欲しい。	
23	防災教育や安全教育を、ホームルームや学校全体で行う。		3.4	3.1	3.4	○警察・消防との連携が有意義なので続けたい。 ○防災訓練に変化があったことは大変良かった。(抜き打ちで行ったこと等) ◇大変ではあるが生徒に考えさせた方が主体性は高まると思う。	
24	人権に関わる課題を知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚の育成に努める。		3.4	3.2	3.3	○生徒指導部などからも意識付けがあったり、行事を通して多面的なアプローチがあるのが良かった。 ◇浸透させる意識を持ちたい。 ◇大変ではあるが生徒に考えさせた方が主体性は高まると思う。	
25	教育活動全般を通じて、情報の活用に伴う情報モラルの育成に努める。		3.3	3.5	3.4	◇特効薬はないので、伝え続けることが大切である。 ◇教員側が気をつけるようにしたい。 ◇指導していてもトラブルが起きるのは仕方ないが、チャンスと捉えて育成していきたい。	
26	キャンパスカウンセラーと連携を密に取るなど、特別な支援を要する生徒や悩みを抱える生徒の支援体制を作る。		3.6	3.5	3.5	○話を聞く雰囲気は良くできている。 ○教員側からもキャンパスカウンセラーを生徒に勧めてくださるのありがたいです。	
27	ホームルーム活動等を通じて、いじめ未然防止に向けた取組を行っている。		3.6	3.2	3.7	○自己肯定感の向上がいじめ防止につながるという考え方がよい。	
28	自然や人と関わる体験活動、食育等を通じて、心身ともに健康で命を大切にする生徒の育成に努めている。	3.6	3.3	3.4	◇給食センター・地域・生産者の顔が見える取組が生徒の食育につながると思う。 ○カフェや発酵の取組はこれまでの米作りの取組を発展させる内容でよかった。		